

「当院の患者および職員を対象とした新型コロナウイルス感染流行状況に関する観察研究」

【採血時期】 2020年6月

【検査対象者】 附属病院職員：743人
外来患者：1000人

【結果】 検査陽性者は当院職員743人中0人、外来患者1000人中1人であった。
全検体での陽性率は1/1743の0.057%であった。

Q&A

抗体とはなんですか。

ウイルスなどの異物が体の中に入ってきたときに、それを排除するために白血球が産生するタンパク質です。体内の抗体を調べることによって、あるウイルスが過去に体内に侵入したことがあるか否かを調べることができます。

自分が感染者ではないかが心配です。

6月に附属病院外来で採血した人7002人から1000人をバラバラに選んで、名前をわからない状態にして検査をしているため、誰が陽性だったかは全くわかりません。

検出された抗体のパターンより、この陽性の患者さんは採血時点では新型コロナウイルス感染症は治っていると思われます。たとえご自分が陽性者であっても、今の状態でなんの心配もありません。

自分も抗体検査をしてもらいたいのですが。

今回の抗体検査は研究の一環として行ったものです。新型コロナウイルス抗体は厚生労働省が指定する保険診療として認められておらず、附属病院の診療として検査することはできません。

残余検体を用いた研究の正当性について

患者さんを匿名化し個人情報に十分配慮することを前提に「当院の患者および職員を対象とした新型コロナウイルス感染流行状況に関する観察研究」が臨床研究倫理審査委員会承認されています（承認番号2005002）。また、本件に関しては以下の当院のホームページにて情報公開をしております。

https://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/kensabu/pdf/info_zanyo.pdf

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/clinicalresearch/section/pdf/2005002.pdf>